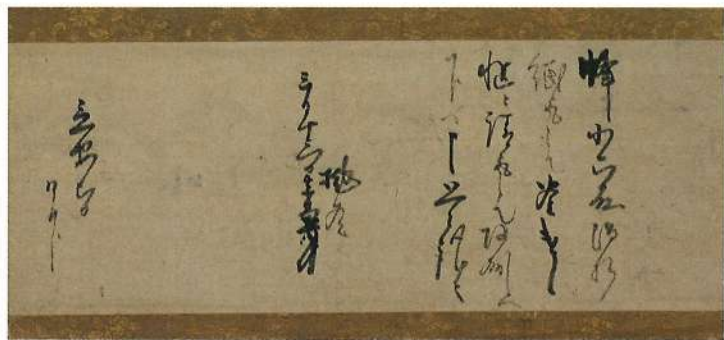


# 殿様の江戸時代 蜂須賀家十五代

慶長五年関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は、征夷大将軍に就任し江戸に幕府を開きました。慶長一九年・二〇年の大坂の陣で豊臣氏を滅ぼし全国支配権を確立した。それ以降、天下を二分する戦いはなく江戸時代は戦乱のない時代が続きました。

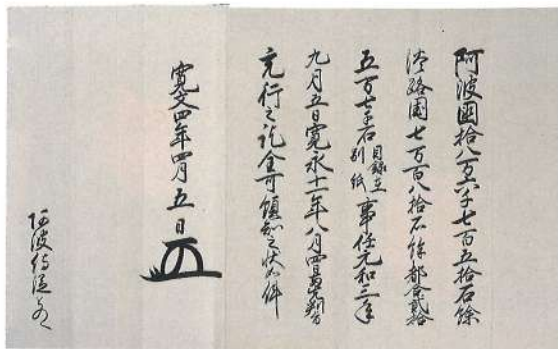
泰平の江戸時代、殿様たちはどのように暮らしたのでしょうか。天正一三年（一五八五）以来、阿波国を治めた蜂須賀家十五代の殿様に焦点をあて、殿様の業績や人となりを探りながら、江戸時代について考えていきます。



千利休書状 天正14年(1586) 魚屋立安宛



徳川家康感状 慶長19年(1614) 森甚大夫宛 森正純氏蔵



徳川家綱領知判物写 江戸時代 蜂須賀光隆宛



蜂須賀家御船絵巻(部分) 明治28年(1895)



虞美人・花鳥図 江戸後期 10代藩主重喜二女載姫筆



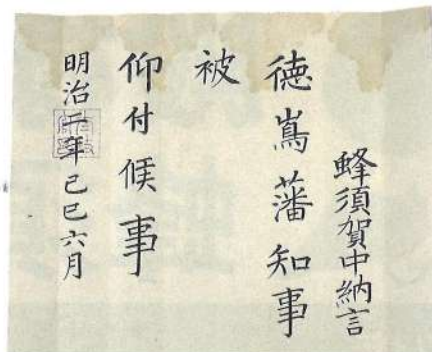
阿波志 12冊  
文化12年(1815)  
藩儒佐野山陰編  
徳島県指定文化財



柳二水車図板戸 江戸後期 徳島県指定文化財



万延大判金  
江戸末期  
蜂須賀正子氏寄贈



太政官藩知事任命書 明治2年(1869)  
蜂須賀茂韶宛



写真「解体前の徳島城」  
原図：明治初年